

## 実践報告 No.12 (後半 Room6)

# 高等学校の日本語指導担当者のための研修の試み —「特別の教育課程」制度導入による研修のニーズ—

米本和弘・齋藤ひろみ・見世千賀子・小西円・谷啓子・  
工藤聖子（東京学芸大学）・原瑞穂（上越教育大学）・  
市瀬智紀（宮城教育大学）・河野俊之（横浜国立大学）

共同研究者：海老原周子（一般社団法人kuriya）・  
角田仁（東京都立町田高等学校）

# 本発表の背景と目的

- 2023年4月 高等学校における「特別の教育課程」による日本語指導の開始

担当者に求められる資質・能力の拡張



研修ニーズの高まり（齋藤他，2023）

「特別の教育課程」を普及・推進し、高等学校の日本語指導を充実させるために、どのような研修が求められているのかを検討し明らかにする

\*文部科学省「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」事業（令和5年度）を東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニットが受託し、事業の一環として研修を実施

# 「特別の教育課程」による 日本語指導

日本語の能力に応じた特別の指導が必要な児童生徒に対して、在籍学級以外の教室で、個別の指導を行う実施形態。

- 小・中学校では、2014年度から導入。高等学校、中等教育学校又は、特別支援学校の高等部では、2023年4月から導入。
- 個人を対象とし、生徒一人一人の日本語の能力等を踏まえて個別の指導目標、指導内容、単位数等を決定し実施。
- 当該生徒の日本語を理解し、使用する能力に応じた特別の指導が可能。

# 「特別の教育課程」による 日本語指導

東京学芸大学先端教育人材  
育成機構（2023a）

- 教育課程に加える場合の例（増単）

各学科に共通する 必履修教科・科目	総合的 な探求 の時間	選択教科・科目	日本語の能 力に応じた 特別の指導	特別 活動
----------------------	-------------------	---------	-------------------------	----------

例：全日制の7時限目、定時制の0時限目を活用した定期的指導、  
休業期間を活用した集中的指導

- 一部に替える場合（代替）

各学科に共通する 必履修教科・科目	総合的 な探求 の時間	選択教 科・科 目	日本語の能力に 応じた特別の 指導	特別 活動
----------------------	-------------------	-----------------	-------------------------	----------

選択科目に「特別の教育課程」による「日本語指導」を設定し指導。  
例：全日制の場合、2，3年生の自由選択の時間を活用。

# 高校における日本語教育の実情

東京学芸大学（2021）

## 1. 在籍状況

- 4割の学校が4人以下の少数在籍学校  
→受入れ・指導体制作りの難しさ
- 集住地域の特定の学校や定時制高校への局所化

## 2. 中退者数

- 高校生活を通じて継続的に修学に注力できない事態  
（学校文化への不適応等）

## 3. 受入れ・教育方針

- 従来からある内部のリソースの活用 ▷ 高  
↔ 外部のリソースの活用 ▷ 低
- 教育課程，利用した入試制度，国籍の違い  
→支援・指導の有無に影響

# 高校における日本語教育の実情

東京学芸大学（2021）

## 4. 日本語指導・教科学習支援

- 多岐にわたる課題（教育課程・制度，校内組織・体制）
- 担当教員の日本語教育に関する専門性

## 5. 進路とキャリア支援

- 教育課程等，学校の特性による違い
- アルバイト・パート，進学・就職をしていない生徒の割合

# 高校における日本語教育の課題

東京学芸大学先端教育人材育成機構（2023a）

1. 外国人生徒等の学習の機会の保障
2. 計画的組織的な指導・支援による日本語指導の質的改善
3. 外国人生徒等の修了後の社会参画・キャリア支援の充実
4. 多文化共生の実現に向けた市民性の育成への取組
5. 担当者の専門性の向上と地域における支援ネットワークの形成

# 研修の概要（内容）

## ① 講義

- ・ 「特別の教育課程」の説明
- ・ 文化間移動と言語の発達

## ② 事例紹介

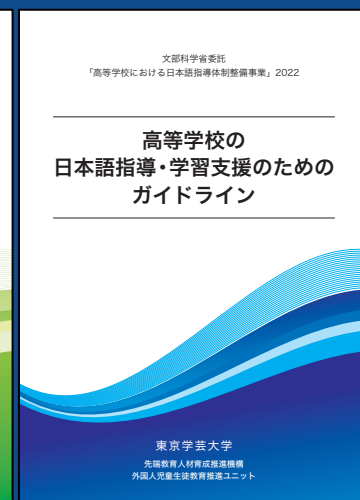
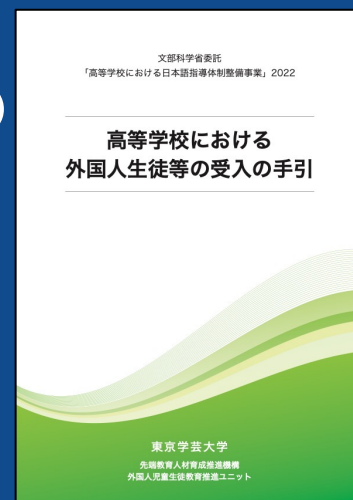
- ・ 指導・支援体制の整備
- ・ 個別の指導計画の作成
- ・ 指導の具体（日本語，教科と日本語）
- ・ キャリア教育
- ・ 地域社会との関わり

## ③ ワークショップ

- ・ 授業づくり

## ④ 情報交換・交流

東京学芸大学先端教育人材育成機構 外国人児童生徒教育推進ユニット（2023a, b）『高等学校における外国人生徒等の受入れの手引』『高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』





# オンライン（第1回）

東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

高等学校における日本語指導・体制整備に関する研修 第1回

高等学校における日本語指導  
-「特別の教育課程」の導入に向けて-

日時：2023年6月25日(日) 9:30-12:00

会場：オンライン(Web会議システム zoom)

定員：50名

対象：高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別の教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法について学ぶための研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を予定しています。

オンライン研修では、「特別の教育課程」に関する理解を深めるための講義と、事例紹介、情報提供、話し合いやワークショップを行います。第1回研修では、「特別の教育課程」の制度とその教育課程上の位置付けの理解をねらいとして実施します。制度導入に必要な体制の整備や卒業までの履修計画の重要性について検討します。

内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」（令和4年度）で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通しておいただきますようお願いいたします。以下のウェブサイトよりダウンロードができます。（<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/feature.html>）

9:30- 9:35	開会（9:20 開場）
9:35-10:05	特別の教育課程の説明：『手引』『ガイドライン』より 見世千賀子（東京学芸大学）
10:05-10:55	高等学校現場の取り組みの紹介 角田仁（東京都立町田高等学校 定時制） 『町田高校における「特別の教育課程」の導入について』
10:55-11:05	休憩
11:05-11:55	情報提供とワークショップ 齋藤ひろみ（東京学芸大学）
11:55-12:00	閉会

お申込みは  
フォームから

Googleフォーム  
<https://forms.gle/dEeDtveykiuPoXcr5>

申込期間：5月16日～6月22日

お問い合わせ

〒184-8501 東京都小金井  
市貫井北町4-1-1  
東京学芸大学 C9号館 108  
事業推進室

kudo1015@u-gakugei.ac.jp  
(担当：工藤)

開催日：2023年6月25日

テーマ：高等学校における日本語指導－  
「特別の教育課程」の導入に向  
けて－

構成：① 講義（制度）

② 事例紹介

東京都立町田高等学校

（定時制・普通科・学年制

・「特別の教育課程」導入の  
経緯・実施状況

# オンライン(第2回)

東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」  
高等学校における日本語指導・体制整備に関する研修

第2回オンライン研修  
外国人生徒等のための「個別の指導計画」

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別の教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法に関する研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を予定しています。(各回で参加者を募集します。スケジュールなどは全体の研修計画をご参考ください。)

第2回オンライン研修では、「特別の教育課程」として日本語指導をするための「個別の指導計画」と科目履修を取り上げます。学習参加や将来のキャリアも視野にいれ、日本語指導、学校設定教科・科目、教科学習支援、キャリア教育等を、教育課程にどう位置づけるかを考えます。

研修内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」(令和4年度)で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通しておいていただきますようお願いいたします。以下のウェブサイトよりダウンロードができます。  
(<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/feature.html>)

◆日時:2023年7月12日(水) 14:30-16:30  
◆会場:オンライン(Web会議システム zoom) ◆定員:100名  
◆対象:高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

14:30 - 14:35	開会 (14:20 開場)
14:35 - 15:05	個別の指導計画の作成
15:05 - 15:35	川崎市立川崎高等学校における 外国人生徒等教育のための仕組みづくり 根田もゆる氏 (川崎市教育委員会)
15:35 - 15:45	休憩
15:45 - 16:25	情報提供・情報交換
16:25 - 16:30	閉会

コーディネート:齋藤ひろみ・見世千賀子(東京学芸大学)・角田仁(東京都立町田高等学校)

お申込みは  
フォームから  
コクチーズよりお申込みください。  
<https://www.kokuchpro.com/event/online2/>  
申込期間: 6月20日~7月5日

お問い合わせ  
kudo1015@u-gakugei.ac.jp (担当:工藤)

開催日:2023年7月12日

テーマ:外国人生徒等のための「個別の指導計画」

構成:① 講義 (制度・個別の指導計画)

② 事例紹介

川崎市立川崎高等学校

(定時制・普通科・学年制)

・特別定員枠生のための教育課程・仕組み

# オンライン (第3回)

東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」  
高等学校における日本語指導・体制整備に関する研修

第3回オンライン研修  
キャリアと日本語指導・教科学習支援

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別的教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法に関する研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を予定しています。(各回で参加者を募集します。スケジュールなどは全体の研修計画をご参考ください。)

第3回オンライン研修では、高校卒業後、外国人生徒等が自立的に進路を選択し、自身の社会的役割を果たせるように、かれらへのキャリア教育について検討します。そして、そのための日本語指導や教科学習支援には、「特別的教育課程」の導入によって新たにどのような可能性が広がるのか、実際の例を通して、その実施方法について具体的に考えます。

研修内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」(令和4年度)で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通しておいていただきますようお願いいたします。以下のウェブサイトよりダウンロードができます。  
(<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/feature.html>)

◆日時:2023年8月10日(木) 13:00-16:00  
◆会場:オンライン(Web会議システム zoom) ◆定員:100名  
◆対象:高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

13:00-13:05 開会  
13:05-13:50 講義1 「高等学校における外国人生徒等へのキャリア支援」  
「特別的教育課程」としての編成・実施による日本語指導の新たな可能性を考えます。  
市瀬智紀・齋藤ひろみ(宮城教育大学・東京学芸大学)

13:50-14:00 休憩  
14:00-15:00 講義2 「実践・取り組み事例の紹介」  
日本語の授業で実施した教科関連語彙・表現の学習活動や、教科と日本語の統合学習、また、進路を見通した日本語指導やキャリア支援について、実践事例をご紹介します。  
報告者: 加藤恵美子先生(兵庫県立加古川南高等学校)  
小川郁子先生(東京都立一橋高等学校) 他  
上野洋次先生(埼玉県立狭山緑陽高等学校)

15:05-15:55 分科会による交流会  
ファシリテーター: 小西円・米本和弘(東京学芸大学)・原瑞穂(上越教育大学)  
・海老原周子(Kriya)・角田仁(東京都立町田高等学校)

15:55-16:00 閉会

お申込み <https://www.kokuchpro.com/event/online3/>  
お問い合わせ [kudo1015@u-gakugei.ac.jp](mailto:kudo1015@u-gakugei.ac.jp) (担当:工藤)

申込期間: 7月18日~8月4日

開催日: 2023年8月1日

テーマ: キャリアと日本語指導・教科学習支援

構成: ① 講義 (制度・キャリア支援)

② 事例紹介

埼玉県立狭山緑陽高等学校

(二部制・総合学科・単位制)

・在籍学級における「JSL国語科」の授業

東京都立一橋高等学校

(定時制・普通科・単位制)

・取り出しの「国語科」「社会科」の授業

兵庫県立加古川南高等学校

(全日制・総合学科・単位制)

・学校設定科目としての日本語関連授業

③ 分科会による交流会

# オンライン(第4回)

東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」  
高等学校における日本語指導・体制整備に関する研修

## 第4回オンライン研修 文化間移動とことばの発達

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別の教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法に関する研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を予定しています。(各回で参加者を募集します。スケジュールなどは全体の研修計画をご参考ください。)

外国人高校生等も、出身地域・国から日本、そして、日々、家庭と学校・地域の間で文化間移動をしています。第4回オンライン研修では、文化間移動をする子どもたちのことば(母語・日本語等)の発達について検討します。また、内容と日本語の統合学習の方法で実施した授業の報告を通して、思考を促し、自律的に社会参加するための言語教育について考えます。

研修内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」(令和4年度)で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通しておいていただきますようお願いいたします。以下のウェブサイトよりダウンロードができます。

(<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongoo/feature/feature.html>)

◆日時:2023年10月11日(水) 14:30-16:30

◆会場:オンライン(Web会議システム zoom) ◆定員:100名

◆対象:高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

14:30-14:35	開会
14:35-15:05	講義1 「特別の教育課程について」 東京学芸大学 本事業調査部会委員
15:05-15:45	講義2 「文化間移動をする生徒の言語発達」 原瑞穂(上越教育大学)
15:45-15:50	休憩
15:50-16:25	講義3 「東京都立荻窪高等学校の取り組み」 総合的な探究の時間「金融リテラシー」～「JSLカリキュラム」の考え方で 根岸良和・村田友作(東京都立荻窪高等学校)
16:25-16:30	閉会

お申込み

コクチーズよりお申込みください。  
<https://www.kokuchpro.com/event/online4/>

お問い合わせ

kudo1015@u-gakugei.ac.jp (担当:工藤)

申込期間:

9月12日～  
10月3日

開催日:2023年10月11日

テーマ:文化間移動とことばの発達

構成:① 講義(制度・移動と言語発達)

【視察報告】

茨城県立結城第一高等学校

(全日制・普通科・学年制)

愛知県立御津あおば高等学校

(全日制/定時制・普通科・単位制)

愛知県立知立高等学校

(全日制・総合学科・学年制)

② 事例紹介

東京都立荻窪高等学校

(定時制・普通科・単位制)

(二部制・総合学科・単位制)

・支援の仕組み、「金融リテラシー」の授業



# オンライン (第5回)

東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」  
高等学校における日本語指導・体制整備に関する研修

## 第5回オンライン研修 地域支援とのネットワーク

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別の教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法に関する研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を計画、実施してきました。(今回は最終回となります。)

第5回オンライン研修では、地域との連携による支援をテーマに、NPOや大学等外部との連携例についてご報告いただき、参加者同士で情報交換を行います。

研修内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」(令和4年度)で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通しておいていただきますようお願いいたします。以下のウェブサイトよりダウンロードができます。

( <https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/feature.html> )



◆日時: 2023年12月2日(土) 9:30-12:00

◆会場: オンライン(Web会議システム zoom) ◆定員: 100名

◆対象: 高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

9:30-9:35 開会

9:35-10:10 講義 「特別の教育課程」としての編成・実施について

東京学芸大学 本事業調査委員会メンバー

10:10-10:40 事例紹介① 「地域と共に外国人高校生等のキャリアを支援する

—外部団体との連携による学校内外の支援体制—

—一般社団法人kuriya 海老原周子さん

10:40-10:45 休憩

10:45-11:15 事例紹介② 「支援団体・地域との連携による取り組み」

茨城県立石下紫峰高等学校 佐藤藤司さん

11:15-11:50 交流会(15分×2セッション、ルーム移動5分)

11:50-12:00 閉会



お申込み

コクチーズよりお申込みください。

[https://www.kokuchpro.com/event/online\\_5/](https://www.kokuchpro.com/event/online_5/)

お問い合わせ

kudo1015@u-gakugei.ac.jp (担当:工藤)

申込期間:

11月7日~

11月29日

開催日: 2023年12月2日

テーマ: 地域支援とのネットワーク

構成: ① 講義 (制度)

【視察報告】

大阪府立大阪わかば高等学校  
(多部制・普通科・単位制)

② 事例紹介

一般社団法人 kuriya

・外部団体との連携と工夫  
茨城県立石下紫峰高等学校

(全日制・普通科・単位制)

・習熟度別授業、インターン  
シップ

③ 交流会

# 対面（第1回）

東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

高等学校における日本語指導・体制整備に関する**対面研修 第1回**

高等学校の日本語指導の内容構成開発と実践  
－「特別の教育課程」による日本語指導の充実に向けて－

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別の教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法に関する研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を予定しています。（各回で参加者を募集します。スケジュールなどはウェブサイトの全体の研修計画をご確認ください。）

本研修（対面1回目）では、「特別の教育課程」として日本語指導をするために、4タイプの日本語プログラムについて学び、二つのグループに分かれ、ワークショップ形式で授業づくりを行います。

研修内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」（令和4年度）で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通していただきますようお願いいたします。以下のウェブサイトよりダウンロードができます。

( <https://www.2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/feature.html> )

日時：2023年7月27日（木） 13:00-16:00

会場：東京学芸大学 定員：50名

対象：高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

13:00-13:10 開会

13:10-13:40 講義1 日本語指導における「特別の教育課程」の導入について  
見世千賀子（東京学芸大学）

13:40-14:30 講義2 日本語プログラムとその組み合わせ  
齋藤ひろみ・小西円・工藤聖子（東京学芸大学）  
武内博子（明治大学）

14:30-14:50 実践事例「日本語指導」  
佐屋麻利子（神奈川県立座間総合高等学校）

14:50-15:00 休憩

15:00-16:00 ワークショップ  
分科会1 日本語プログラムBの授業づくり  
分科会2 日本語プログラムCの授業づくり

ファシリテーター 齋藤・見世・小西・工藤（東京学芸大学）・角田（都立町田高等学校）・  
佐屋（神奈川県立座間総合高等学校）・武内（明治大学）

16:00 閉会



お申込みは  
フォームから

お問い合わせ

コクチーズよりお申込みください。  
<https://www.kokuchipro.com/event/taimen1/>  
申込期間：7月4日～7月19日

kudo1015@u-gakugei.ac.jp （担当：工藤）

開催日：2023年7月27日（東京）

テーマ：高等学校の日本語指導の内容構成開発と実践－「特別の教育課程」による日本語指導の充実に向けて

構成：① 講義（制度・日本語プログラム）  
【視察報告】

大阪府立大阪わかば高等学校  
（多部制・普通科・単位制）

② 事例紹介

神奈川県立座間総合高等学校  
（全日制・総合学科・単位制）  
・包括的な日本語・教科学習支援

③ ワークショップ  
授業作り

# 対面（第2回）

東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

高等学校における日本語指導・体制整備に関する対面研修 第2回

北陸における高等学校の日本語指導の充実に向けた取り組み

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別的教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法に関する研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を予定しています。（各回で参加者を募集します。スケジュールなどはウェブサイトの全体の研修計画をご確認ください。）

本研修（対面2回目）では、地域で外国人生徒等への日本語や教科指導について情報を共有し、高等学校において外国人生徒等を支援する力の向上を図ります。

研修内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」（令和4年度）で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通しておいただきますようお願いいたします。

以下のウェブサイトよりダウンロードができます。

（<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/feature.html>）

◆日時：2023年9月15日（金）13:00～16:00

◆会場：学校法人敬和学園 敬和学園高等学校 ◆定員：20名

◆対象：高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

12:50～13:00 受付

13:00～13:05 開会 ご挨拶 敬和学園高等学校 学校長 小田中肇

13:05～13:30 敬和学園高等学校における

日本語指導や外国ルーツの生徒の支援体制

13:30～13:45 情報提供 高等学校の特別的教育課程について

13:55～14:45 授業参観 授業提供：敬和学園高等学校 教諭 臼杵由美子

14:55～15:45 研究協議会・意見交換

ファシリテータ：原瑞穂（上越教育大学）・臼杵由美子・齋藤ひろみ（東京学芸大学）

15:45～16:00 閉会

お申込みは  
フォームから

申込期間：8月17日～9月6日

コクチーズよりお申込みください。

<https://www.kokuchipro.com/event/taimen2/>

お問い合わせ

kudo1015@u-gakugei.ac.jp （担当：工藤）



開催日：2023年9月15日（新潟）

テーマ：北陸における高等学校の日本語指導の充実に向けた取り組み

構成：① 事例紹介

私立敬和学園高等学校

（全日制・普通科・学年制）

・受入体制、日本語・教科学習支援

② 講義（制度）

③ 授業参観・研究協議会・意見交換

# 対面（第3回）

東京学芸大学 文部科学省委託  
「高等学校における日本語指導体制の充実に関する調査研究」

高等学校における日本語指導・体制整備に関する対面研修 第3回

高等学校における外国人生徒等への日本語指導の取り組み－  
情報の共有と学校間連携に向けて－

令和5年4月より、高等学校における日本語指導は「特別的教育課程」として編成・実施できるようになりました。この制度の理解と、導入に向けた体制整備、指導計画の立て方、支援方法に関する研修を実施します。今年度、オンライン研修5回、対面研修3回、計8回の実施を予定しています。（各回で参加者を募集します。スケジュールなどはウェブサイトの全体の研修計画をご参考ください。）

本研修（対面3回目）では、地域で外国人生徒等への日本語や教科指導について情報の共有を行い、高等学校において外国人生徒を支援する力の向上を図ります。

研修内容は文部科学省「高等学校における日本語指導体制整備事業」（令和4年度）で作成した『手引』と『ガイドライン』に基づきます。事前に目を通していただきますようお願いいたします。以下のウェブサイトよりダウンロードができます。

（<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~knihongo/feature/feature.html>）

◆日時：2023年09月29日（金）13:00～16:00

◆会場：宮城教育大学 7号館 720番教室 ◆定員：50名

◆対象：高等学校等の日本語指導・支援担当者、学校管理職、教育委員会担当者

13:00～13:30 講話 「特別的教育課程について」

米本和弘（東京学芸大学 教職大学院 准教授）

13:30～14:00 話題提供① 「高等学校における日本語指導の現状」

菊池泰子（仙台市立大志高校 講師）

14:20～14:50 話題提供② 「指導のための方法やリソースについて」

市瀬智紀（宮城教育大学 教育学部 教授）

14:50～15:10 話題提供③ 「外国人児童生徒受入拡大対応業務（県委託事業）の

概要と課題について」

伊藤友啓（宮城県国際化協会 シニアチーフスタッフ）

15:10～16:00 情報共有 「県内高校の外国人児童生徒の日本語指導をめぐって」

お申込みは  
フォームから

申込期間：8月29日～9月24日

コクチーズよりお申込みください。

<https://www.kokuchpro.com/event/taimen3/>

お問い合わせ

kudo1015@u-gakugei.ac.jp （担当：工藤）



開催日：2023年9月29日（宮城）

テーマ：高等学校における外国人生徒等への日本語指導の取り組み－情報の共有と学校間連携に向けて－

構成：① 講義（制度・指導方法・リソース）

② 事例紹介

仙台市立仙台大志高等学校

（二部制・普通科・単位制）

・散在地域の高校の日本語指導

宮城県国際化協会

・外国人児童生徒支援の現場と

課題

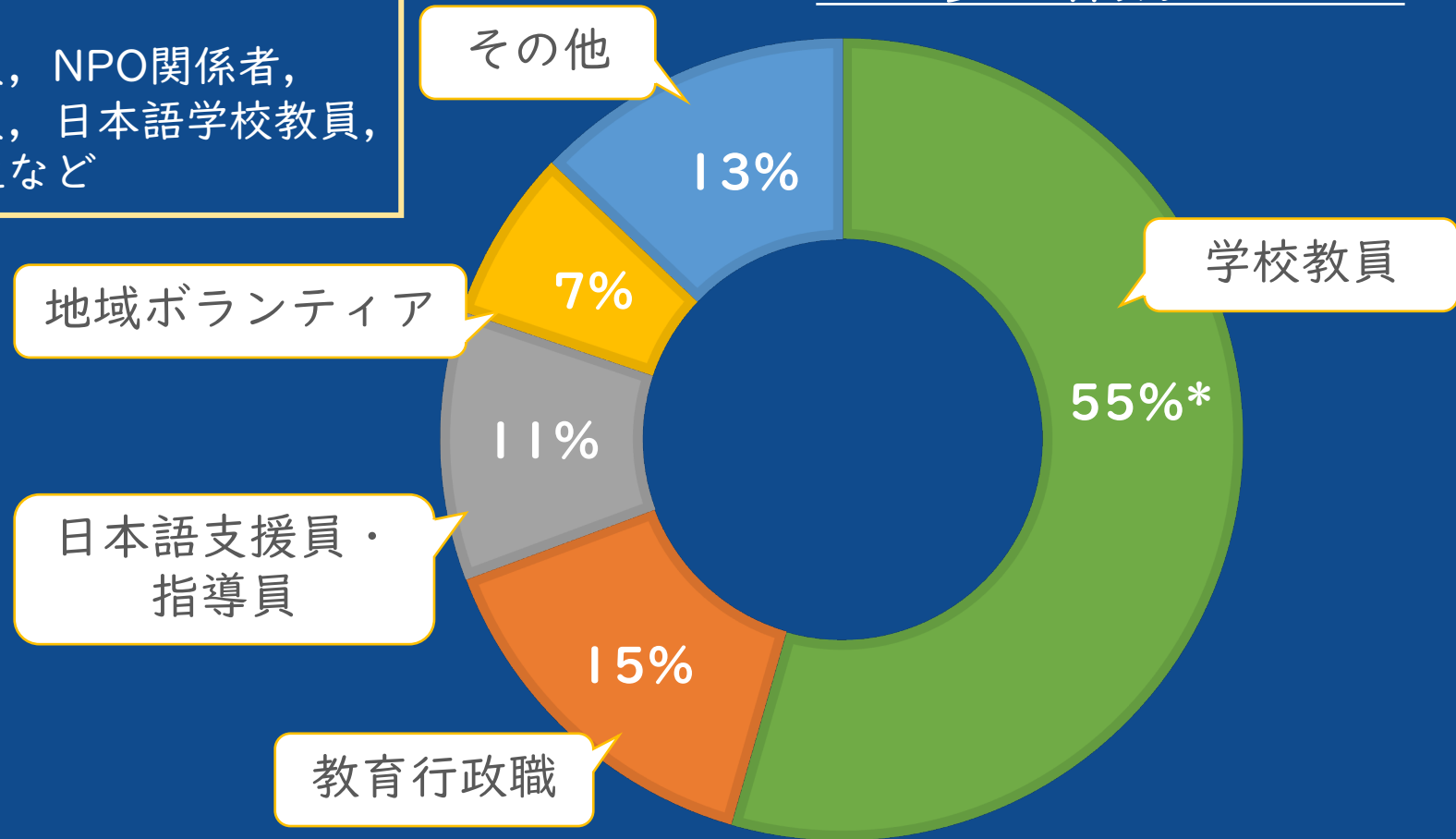
③ 情報共有



# 研修の概要（参加者の立場）

のべ参加者数：541人

その他：  
学校職員，NPO関係者，  
大学教員，日本語学校教員，  
大学院生など



\*割合は事後アンケートに基づく。

# 研修の概要（オンライン）

	開催日	テーマ	講義	事例	WS	交流
1	6月25日	高等学校における日本語指導－ 「特別の教育課程」の導入に向けて－	○	○		
2	7月12日	外国人生徒等のための「個別の 指導計画」	○	○		
3	8月10日	キャリアと日本語指導・教科学 習支援	○	○		○
4	10月11日	文化間移動とことばの発達	○	○		
5	12月2日	地域支援とのネットワーク	○	○		○

# 研修の概要（対面）

	開催日	テーマ	講義	事例	WS	交流
1	7月27日 (東京)	高等学校の日本語指導の内容構成開発と実践－「特別の教育課程」による日本語指導の充実に向けて	○	○	○	
2	9月15日 (新潟)	北陸における高等学校の日本語指導の充実に向けた取り組み	○	○		○
3	9月29日 (宮城)	高等学校における外国人生徒等への日本語指導の取り組み－情報の共有と学校間連携に向けて－	○	○		○

# 研修の概要（報告事例）

	回	事例	主な報告内容
オンライン	1	東京都立町田高等学校（定・普・学）	「特別の教育課程」導入の経緯・実施状況
	2	川崎市立川崎高等学校（定・普・学）	特別定員卒生のための教育課程・仕組み
	3	埼玉県立狭山緑陽高等学校（二部・総・単） 東京都立一橋高等学校（定・普・単） 兵庫県立加古川南高等学校（全・総・単）	在籍学級における「JSL国語科」の授業 取り出しの「国語科」「社会科」の授業 学校設定科目としての日本語関連授業
	4	東京都立荻窪高等学校（定・普・単）	支援の仕組み、「金融リテラシー」の授業
		視察報告：茨城県立結城第一高等学校（全・普・学）、愛知県立御津あおば高等学校（全・定・普・単）、愛知県立知立高等学校（全・総・学）	
5	一般社団法人 kuriya 茨城県立石下紫峰高等学校（全・普・単）	外部団体との連携 習熟度別授業、インターンシップ	
	視察報告：大阪府立大阪わかば高等学校（多部・普・単）		
対面	1	神奈川県立座間総合高等学校（全・総・単）	包括的な日本語・教科学習支援
	2	私立敬和学園高等学校（新潟／全・普・学）	受入体制、日本語・教科学習支援
	3	仙台市立仙台大志高等学校（二部・普・単）	散在地域の高校の日本語指導

# 参加者アンケートの分析I (参加者の学び)

- 制度に対する理解の深まり 講義・事例
  - 「新しい制度について概要を知ることができて良かった」
  - 「特別の教育課程に対する考え方が深まった」
- 制度活用のイメージ形成 講義・事例
  - 「個別の指導計画や教育課程の事例報告で具体化した」
  - 「リライトや視覚教材を用いた授業の実践等の紹介が参考になった」
- 参加者間での学校・自治体の現状共有 事例・交流
  - 「日本全国の高校で様々な形の「特別の教育課程」による日本語指導が行われていることを知れた。逆に、本校の実情に合わせた日本語指導ができる、する必要があるということも理解できた」

# 参加者アンケートの分析2

## (参加者の課題意識と研修への要望)

- 全体的及び個々の高等学校の仕組みや特徴との関連性  
「1年間の履修単位の上限等、既存のカリキュラム編成の規定(慣習)に縛られている」  
「本校には様々な生徒がおり、そのような中で、外国人生徒に先生方がどこまで対応できるのだろうかと不安」  
→ 講義・事例
- 学校内外における連携体制の構築  
「学校組織の中でどのように提案、作成していくのか、教職員の理解をどのように図っていくのか」  
「高校での外部人材登用に関するノウハウを知りたい」  
→ 講義・事例
- 日本語指導・教科学習支援の具体  
「何をもって「学年相当」と判断するのかわからない」  
「高校の現場に沿った内容のワークショップにしてほしい」  
→ 事例・WS・交流

# 今後の研修に向けて

- 「特別の教育課程」による日本語指導に関連する課題
  1. 本制度の理解がまだ十分には進んでいない
  2. 他校・他地域における取組事例を知る機会が極めて少ない
  3. 日本語指導及び制度導入を検討する組織・機会がない現場が多い
- 今後の研修において求められる内容
  1. 日本語指導・支援の工夫や実践の共有と蓄積  
★ 高等学校の教育内容や方法、評価などを考慮
  2. 立場や関わり方などにより異なるニーズに対応した研修内容や活動
  3. 学校種を超えた協働・連携の可能性

+ 教員養成課程の関係者も巻き込んだ議論や取り組み

# 参考文献

齋藤ひろみ・市瀬智紀・河野俊之・工藤聖子・小西円・谷啓子・米本和弘（2023）「「特別の教育課程」としての日本語指導に関する教員の認識—研修参加者のアンケート調査から—」日本語教育学会2023年秋季大会、山形

東京学芸大学（2021）「高等学校における日本語指導体制整備事業2021年度事業報告書」

東京学芸大学先端教育人材育成機構（2023a）『文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」2022 高等学校における外国人児童生徒等の受入の手引き』

東京学芸大学先端教育人材育成機構（2023b）『文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」2022 高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』